

広島市植物公園 見どころ案内

オキナグサ (キンポウゲ科)
黒に近い赤花でピロードのような毛に覆われています。

ヤチタイカリソウ (メギ科)
四国と九州のみに自生するイカリソウの仲間の希少種です。

ゼラニウム展 (フウロソウ科)
～4月22日まで
日本一のコレクションで約300品種を一度に見ることができます。花も美しいですが、葉の香りも楽しんでください。

ヒスイカズラ (マメ科)
フィリピン原産の緑がかかった青色の花をつけるつる植物です。大温室の一番奥に長い花房がぶら下がって次々と咲いています。

クレマチス・アーمانディー (キンポウゲ科)
常緑で春咲きのクレマチスです。フェンスを白い花が覆っています。

サトウソメイ (バラ科)
ソメイヨシノの枝変わり種で広島生まれの桜です。ピンクがやや濃い色です。

ミズバショウ (サトイモ科)
白い部分は仏炎苞(ぶつえんほう)といい、その中央に小さな花が円柱状に集まっています。

ツバキ園 (ツバキ科)
大輪のヒゴツバキや海外で育成されたツバキの品種がたくさん咲いています。

広島江波山桜 (バラ科) 咲きはじめ。1994年に珍しい山桜として名づけられました。花びらは13枚です。原木は江波山公園にあり、市の天然記念物に指定されています。

八重紅枝垂れ (バラ科) エドヒガンの八重咲きで枝が枝垂れて花色の濃いタイプです。

コバノミツバツツジ (ツツジ科) 芝生広場の他にも園内のいたるところに自生しています。色は淡ピンクから濃ピンクまで株により様々です。

ムスカリ (ヒアシンズ科)
香りの小径沿いがブルーのじゅうたんのようです。

モクレン園 (モクレン科)
様々な色の園芸品種が開花中です。

